

【博士後期課程 人間福祉専攻】＜博士（人間福祉）、博士（学術）＞

〈研究指導体制〉

指導教員 1 名（1 年次 4 月に決定）と副指導教員 1 名（1 年次 1 月に決定）が博士論文の完成まで指導を行う。ただし、博士論文年次発表会においては、専攻教員全員が参加して質疑応答や助言を行い、専攻全体で博士論文作成を指導する体制を取る。

〈スケジュールと指導内容〉

[1 年次]

(1) ガイダンス（4 月）

入学時のオリエンテーションにおいて、研究指導計画と研究倫理審査について説明を受ける。

(2) 指導教員の決定と研究指導開始（4 月）

ガイダンスで配布される指導教員承認届（指定用紙）を提出し、研究科教授会で検討した上で指導教員が発表される。指導教員の指導の下、コースワークの履修登録ならびに研究倫理申請も含めた 3 年間の研究スケジュールを決定する。

(3) 博士論文 1 年次研究発表会（6 月）

博士論文の骨子（問題意識（リサーチクエスション）、先行研究のレビューと研究の意義、調査研究方法など）について発表し、指導教員以外の教員からも助言を受ける。

(4) 副指導教員の決定（1 月）

指導教員、副指導教員を交えて、三者で研究の進捗状況を確認し、今後の研究の進め方について協議する。

(5) 研究成果報告書提出（1 月）

1 年間の研究成果の概要を報告書（指定用紙）にとりまとめ、指導教員と副指導教員から講評を受ける。同報告書は研究科教授会にて報告される。

[2 年次]

(1) 博士論文 2 年次研究発表会（6 月）

これまでの研究成果について発表し、指導教員以外の教員からも助言を受ける。

(2) 研究成果報告書提出（1 月）

1 年間の研究成果の概要を報告書（指定用紙）にとりまとめ、指導教員と副指導教員から講評を受ける。同報告書は研究科教授会にて報告される。

[3 年次]

(1) 博士論文 3 年次研究発表会（6 月）

これまでの研究成果について発表し、指導教員以外の教員からも助言を受ける。

(2) 博士論文予備登録（9 月）

博士論文の審査に向けて、予備登録願（指定用紙）を提出する。

(3) 博士論文提出（9 月）

博士論文審査願等の書類一式（指定用紙）とともに、博士論文ならびにその論文要旨、英文要旨（作成基準あり）を提出する。

(4) 博士論文口頭試問（1 月）

専攻教員に対して、博士論文の口頭説明を行った上で、質疑に答える。

(5) 博士論文発表会（3 月）

博士論文を発表する。

*3 年次進級後は、毎年博士論文 3 年次研究発表会を行う。